

事務事業評価シート(平成25年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
71215	滞納整理事務	住民税務課	徴収係	向山 光	伊藤 公一
		一次評価年月日	平成 26 年 6 月 13 日	連絡先[内線]	2107
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0230	税務総務事務	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0231	賦課徴収事務		
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	7章	効果的・効率的な行財政運営のまちづくり
		節	(コード選択)	1節	地方分権時代に対応した計画的な行財政運営の推進
		項[基本施策]	(コード選択)	2項	計画的な財政経営の推進
目[主な施策]	(コード選択)	1目	財政の健全化		
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明 <input type="checkbox"/> 終期設定なし			

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町税の滞納者(督促状を発送後10日を経過した者)

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

町の自主財源を確保するために、滞納整理を行い、滞納者数、滞納税額を減らし、納税の公平性を確保する。

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

1	町税等納税催告書を送付し、滞納金額を知らしめ、年3回の滞納整理期間に合わせたい能整理を行う
2	差押のための財産調査を行う
3	差押による滞納処分を行う
4	財産調査を行い、納税能力の無い者に対し執行停止を行う

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		24年度	25年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)	
①	指標名	差押のための財産調査の件数		4,500	4,600	4,700	1.00	4,700
	説明	預貯金調査の件数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 前年度の数値から推計				
②	指標名	差押		88	85	100	1.00	100
	説明	差押件数(差押解除含む)		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 前年度の数値から推計				

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		24年度	25年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)	
①	指標名	決算における町税の現年度分徴収率		99	99	99	1.00	99
	説明	決算における町税(国保税を除く)の現年度分徴収率		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 前年度の数値から推計				
②	指標名	差押(換価額)		5,802,983	6,747,585	8,000,000	1.00	8,000,000
	説明	差押金額(差押解除含む)		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 前年度の数値から推計				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) = ①+②		(千円)		平成23年度 決算	平成24年度 決算	平成25年度 決算	平成26年度 見込み	
				21,632	17,581	18,367	1,141	
対前年比		%		/	81.3	104.5	6.2	
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)				0	0	0	0	
B) 一般財源(税金)				21,632	17,581	18,367	1,141	
①事業費		(千円)		1,438	1,304	1,210	1,141	
対前年比		%		/	90.7	92.8	94.3	
②人件費の概算		(千円)		20,194	16,277	17,157	0	
対前年比		%		/	80.6	105.4	0	
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数		
		H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26	
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	1.01 1.00 0.00	0.00 0.00 0.00	1.01 1.00 0.00	2.02 2.00 0.00	18,294 14,177 15,057	0
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)					1,900 2,100 2,100	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果		
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある	B 変化していない	住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 業務の中で把握している。
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要	
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である	B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している	B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった	B 概ね期待したとおりの成果があった	C 期待したほどの成果が得られなかった
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している	B 今後は可能性がある	C 今後も可能性はない
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし	B 当面は余地なし	C 一部余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし	B 当面検討の余地なし	C 一部検討の余地あり
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性	B	A すでに実施している	B 可能	C 困難

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
徴収率を維持するため、預金や給与など即効性のある財産調査を行い差押を行う、新たな差押えを開拓し(太陽光発電売電収入等)差押により、徴収率を上げる。	[反映内容] 延滞金や督促調定の増額

(8) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

A	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。
	B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。
	C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。
	D(1) 計画の実施には着手できなかった。
	※具体的な実施内容をお書きください
	太陽光発電の売電収入を調査し差押件数を伸ばした。財産調査を実施したうえ、財産なし者の執行停止を実施することにより、結果すべての税目において徴収率が伸びた。

(9) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
滞納整理には、公正・公平で毅然とした姿勢・対応が必要であり、そのための職員の資質向上が大事である。初期滞納者に対する電話催告が有効であり、継続して実施していくことが必要である。新たに導入したタイヤロックによる差押等、滞納整理の手法についてもさらに研究していく。臨戸訪問も継続しつつ、県の滞納整理機構等の関係機関との連携を強める。時効管理をきちんとし、執行停止等の適正な事務を進める。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択